

# 新型コロナウイルスワクチンの追加接種について

- 令和3年12月1日から新型コロナウイルスワクチンの追加（3回目）接種が始まります。
- このリーフレットは、積極的に追加接種を受けていただくために、知っていただきたいことをまとめたものです。

## ◆ 背景

- ◆ 日本国内でのワクチンの2回接種率は、77.0%にのぼり、感染状況も比較的落ち着いているところですが、新たな変異株が確認され、また日本に先んじてワクチン接種を開始した諸外国（特に欧米）においては、過去最大級の流行が起きており、極めて高い感染状況が続いています。（R3年12月1日現在）

～海外で感染者が再び急増しているのは～

- ◆ ワクチンの抗体価が時間とともに減少することが考えられます。

（2回目接種から6カ月経過後の抗体価 ⇒ **80%以上減少**）

諸外国では、拡大する感染状況に対し、**追加接種を実施**

## ◆ 追加接種による抗体価（2回目接種との比較）

- ◆ 3回目接種 ⇒ **抗体価が5～12倍に上昇** UP

※ 3回目接種後1カ月のデルタ株に対する中和抗体価は、2回目接種後1カ月と比較して以下のとおりです。

- 18歳から55歳において**5倍**以上
- 65歳から85歳において**1.2倍**以上

（出典:Falsey AR et al,NEJM correspondence,2021）



## 効果

- ◆ COVID19の感染／重症化予防効果を上げることができ、（特に高齢者や免疫力の低い人は2回のワクチン接種効果が低いことが分かっています。）
- ◆ 医療従事者等が感染しにくい状況をつくることができる。

これにより

- ⇒ 『**患者さんへ感染を広げない**』
- ⇒ 『**医療提供体制を維持できる**』ことにつながります。

## 副反応

- ◆ 3回目接種の副反応の発現傾向は**2回目と概ね同様**

## ◆ これまでに得られた知見

- ◆ 3回目のワクチン接種による副反応は、2回目接種とほぼ変わらない。
- ◆ 高齢者や免疫力が低い人（免疫抑制剤使用中、がんの治療中、肥満、透析の方など）は、2回のワクチン接種のみでは効果が低い。
- ◆ まれに若年男性を中心に心筋炎を起こすことがあるが、大半は軽症で終わる。
- ◆ 妊婦も安全に接種できる。



## ◆ 追加接種 Q & A

**Q なぜ、追加接種が必要なのですか。**

A 日本で接種が進められているワクチンは高い発症予防効果等がある一方、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが様々な研究結果等で報告されています。このため、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、追加接種の実施が求められています。

**Q 感染が拡大し始めてから接種すれば大丈夫なのではないでしょうか？**

A 感染のスピードは非常に速いため、接種体制の整備が間に合わず、感染が爆発的に拡大してしまうおそれがあります。また、追加接種の効果（ブースター）が現れるまでには、一定の期間が必要であるため、感染状況に関わらず、速やかに接種していただくことが望ましいと考えられます。

**Q 集団免疫は獲得できないと聞いたのですが、多くの方が追加接種をした方が良いでしょうか。**

A 国の新型コロナウイルス対策分科会において「集団免疫の獲得は困難」との意見もありますが、抗体価をたくさん持っている人が多い方が集団として感染しにくい状況をつくることができますので、追加接種を推奨しています。

**Q m-RNAワクチンでは、抗体依存性感染増強 (ADE) の心配はありますか？**

A ADEの心配はほとんどありません。

**Q 追加接種はどのような順番で行われますか。**

A 医療従事者や入院患者等につきましては、2回目の接種完了から**6カ月以上**経過した後、順次、3回目の接種を受けることができます。なお、重症化リスクが高い方や、重症化リスクの高い方と接触が多い方、職業上の理由などによりウイルス曝露リスクが高い方は、特に接種をお勧めしています。（参考：令和3年12月17日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室事務連絡「初回接種完了から8か月以上の経過を待たずに新型コロナワクチンの追加接種を実施する場合の考え方について」）

## ◆ 接種に関し疑問がある方は…

○ 山梨県新型コロナワクチン専門相談ダイヤル 055-223-8878

● 土日祝日含む毎日 9:00～24:00まで（0:00～9:00は音声案内）

● 専門的な知識を有する看護師、薬剤師などが相談に応じます。

● がいこくごでの そうだん (in foreign language) : TEL 092-687-5164

山梨県ワクチン接種検討会監修

